



NHK問題を考える会（兵庫）
これまでの活動

2005～2008年

NHK問題を考える会（兵庫）
2011年8月

1. 「番組改ざん問題」ビデオ上映会 「会」はここから始まった 2005.3.16

NHK番組改ざん問題を考える

**「沈黙の歴史をやぶってー
女性国際戦犯法廷の記録」** **ビデオ上映会**

—世界は「慰安婦」制度をどう裁いたか— (パウネット ジャパン編)

法廷を傍聴された方もお話ししてください。
日本国憲法に明記されている言論・表現の自由が奪われたら…
わたしたちは過ちを二度と繰り返したくない…みんなで見て考えようではありませんか。
ぜひご参加ください

「過去をひもとかない国に
よい明日はありません」(岸 恵子さん)

お話し合いのあと、どういふ運動をすすめるかご相談します。

と き：3月16日(水)午後6時30分～
と ころ：神戸市婦人会館 (すみれの間)
(湊川神社西側総合福祉センター4階)
資料代：500円

よびかけ：ビデオ『女性国際戦犯法廷の記録』を見る実行委員会

(連絡先)： 兵庫県AALA連帯委員会 078 (371) 2360
西川 幸 : 078 (441) 3845
貫名 初子 : 078 (861) 2685

- 2005年1月、NHK番組制作のスタッフ・長井暁氏が「慰安婦問題をテーマにした番組『問われる戦時性暴力』がNHK上層部によって改ざんされた」と告発しました。
- 当時、自民党副幹事長だった安倍元首相らが圧力をかけたという内容でした。
- 私たちは、急遽 市民に呼びかけ、3月16日に「沈黙の歴史をやぶってー女性国際戦犯法廷の記録」ビデオ上映会を開きました。
- 集会には60人を超える人が参加しました。この「NHK問題を考える会」はこの集会を最初の出発点として結成されました。

2. NHK神戸放送局へ申し入れ '05. 2・26、'05. 3・22



その集会のなかで、神戸放送局に抗議の申し入れをすることになり、2回 抗議にいきました。2回目の申し入れには 14人の参加があり、NHK東京への抗議行動と記者会見にもカンパで代表を送り、NHK問題全国連絡会の結成に参加しました。

3. マスコミ関係者との交流・懇談会 2005. 4・21

第2回

NHK問題を考えるつどい

マスコミ関係者との交流・懇談会

1月13日、NHK番組、ETV2001「問われる即時性暴力」
が自民党議員の圧力によって改ざんされたとの内部告発をうけて
全国的にNHKに対する抗議行動がひろがっています。

(ゲスト)

日放労組西支部 委員長
(NHK)



- 2005年4月21日には、NHK労働組合の職員とマスコミ関係者にきていただき、シンポジウムを行い、報道の現場はどうなっているか、報道の自由と、国民の知る権利について、意見交流をしました。

4. NHKに放送命令 2006. 11. 10



- 2006年11月10日、国際放送始まって以来、初めて菅 義偉(すが よしひで)総務大臣はNHKに対して、ラジオ国際放送で「北朝鮮による拉致問題を重点的にとりあげるよう」命令を出しました。
- これは憲法や放送法が保障した「報道の自由」を踏みにじったはじめての大臣命令でした。
- マスコミ各紙は、公共放送への政府の介入として、大きな問題だと書きました。菅義偉総務大臣は安倍元首相を頭とする改憲派の一人です。
- ちなみに、国際放送の中に「命令放送」が規定されたのは1950年の「放送法」が施行されたときです。
- 1952年に国際放送が開始されて以来、放送の中味はNHKの自主編成に委ねられていました。それは戦前のNHKが国際放送で政府の宣伝放送だった深刻な反省を踏まえてのことでした。
- メディア研究者やジャーナリストは放送命令に反対する緊急アピールを出し「国策放送でいいのか」と社会に警鐘をならしました。